

## 憲法基礎演習（2023年度前期）

担当：柳瀬 昇

この演習は、①判例研究、②小グループ討議、③最新憲法問題研究の3つの内容で構成される。①では、憲法問題が争点となった過去の日本の最高裁判所の判決文を読み、争点等を整理したうえで、学生全員で議論を行う。②では、わが国ではまだ裁判で争われたことのない憲法の論点について、解説を読んだうえで、グループに分かれて他の学生とともに議論を行う。③では、現在まさに争点となっている最新の憲法問題を取り上げ、立法資料や判例等を参照しながら、学生全員で議論を行う。

### ○授業計画

第1回（4/10）	オリエンテーション、憲法の学習方法
第2回（4/17）	判例研究①：東大ポポロ事件（教科書第8章）
第3回（4/24）	判例研究②：昭和女子大事件（教科書第1章）
第4回（4/25～5/7）	小グループ討議のための事前講義：法の下での平等について ※6/5 休講の補講振替分 <u>受講者の都合のよいときに、補講動画を視聴しておく</u> 柳瀬講義ビデオ： <a href="https://www.youtube.com/watch?v=QJSGSufKJ2Y&amp;t=5s">https://www.youtube.com/watch?v=QJSGSufKJ2Y&amp;t=5s</a>
第5回（5/8）	小グループ討議：法の下での平等とアフーマティブ・アクション
第6回（5/15）	判例研究③：麴町中学校内申書訴訟（教科書第4章）
第7回（5/22）	判例研究④：第一次家永訴訟（教科書第6章）
第8回（5/29）	判例研究⑤：呉市立二河中学校事件（教科書第7章）
（6/5）	<b>休講</b> 第4回を動画による補講とし、第5回から第8回の内容を繰上げ
第9回（6/12）	判例研究⑥：学生無年金障害者訴訟（教科書第10章）
第10回（6/19）	<b>休講</b> 最新憲法問題研究①：わが国の感染症対策の歴史 <u>受講者の都合のよいときに、補講動画を視聴しておく</u> 法務省制作ビデオ： <a href="https://www.youtube.com/watch?v=eRKCmf-kcSw">https://www.youtube.com/watch?v=eRKCmf-kcSw</a>
第11回（6/26）	最新憲法問題研究②：感染症患者に対する隔離等の合憲性
第12回（7/3）	最新憲法問題研究③：感染症対策のための営業規制等の合憲性
第13回（7/10）	最新憲法問題研究④：青少年に関する刑罰法規等の合憲性
第14回（7/17）	最新憲法問題研究⑤：青少年の健全育成のための規制等の合憲性
第15回（7/24）	総括（最終レポートの提出または期末試験）

### ○履修制限について

この科目は、法律学科1・2年生の受講を想定している。第2回目までに教科書（柳瀬昇『教育判例で読み解く憲法〔第2版〕』（学文社、2021年））を用意できない学生は、受講に支障が生じるので、履修を認めない。

## ○LMSについて

Google Classroom を通じて、教材の一部を電子データで配布するので、印刷したうえで各回の授業に持参されたい（半期で約 110 頁である）。クラスコードは、「6h4a52w」である。

## ○授業担当者へのアクセスについて

授業担当者の研究室は、本館 8 階 1810 号室である。電子メールのアドレスは、yanase.noboru@nihon-u.ac.jp である。メールを送る際には、文中に、氏名・学籍番号と、何曜日・何時限の講義を受講しているのかを必ず明記する。できる限り通常のパソコンのメールアドレスから送信されたい（受信できないおそれがあるため、携帯電話のメールアドレスからの送信は、特段の事情がある場合を除き、避けられたい）。



講義の内容に関する質問や学生生活上の相談については、オフィスアワー（金曜日（12 時 20 分～12 時 50 分））において対応する。他の用務のため中止することもあるため、確実に時間を確保したい場合には、電子メールで事前に連絡をとることをすすめる。

## ○参考書について

次に挙げるのは、標準的な憲法解釈論を学ぶにあたって役立つであろう参考書として、授業担当者が推奨できるものである。必要に応じて参照することを薦める。図書館などで、実際に手に取ってみて、読みやすいものを 1 冊手もとに置き、通読してほしい。

### 基本書・体系書

- ・ 芦部信喜（高橋和之補訂）『憲法〔第 7 版〕』（岩波書店、2019 年）
- ・ 佐藤幸治『日本国憲法論〔第 2 版〕』（成文堂、2020 年）
- ・ 高橋和之『立憲主義と日本国憲法〔第 5 版〕』（有斐閣、2020 年）

### 注釈書（コンメンタール） 条文ごとに注釈が付されているもの

- ・ 木下智史・只野雅人編『新・コンメンタール憲法〔第 2 版〕』（日本評論社、2019 年）

### 判例集

- ・ 長谷部恭男ほか編『憲法判例百選 I・II〔第 7 版〕』（有斐閣、2019 年）